

やっぱり目的はリニア建設に向けた「コスト削減」 と「社員管理の徹底」か？！

でも「安全」にはお金をかけましょう！！

今職場では、3月末に改訂した「安全心得」の知悉度確認を行うだとか、「階段の手すりを持つ」だとか、始業前に行っている「J R 東海体操の重要性を説く」とか、労働災害防止を前面に出して「ルール徹底」が叫ばれています。しかし社員管理の色合いの濃い「安全確立の取り組み」に会社は本当に社員の安全のことを考えているのでしょうか。浜松工場のもも含めて各所で発行している「所内誌」を見ると競うように「安全」とか「社員どうしが注意し合う」ということが語られています。「安全」というよりも「ルールを守る」、『会社の命令には疑問をもたず黙って従う』というところに重きが置かれている気がしてなりません。私たちは所属する労働組合を通じて4月9日に「命を守るルール」に関して①「体操の時間を労働時間とすること」②「ウイルスの感染を防ぎ社員の健康を維持するために階段の手すりを抗菌仕様にすること」などといった申し入れを関西支社に行いました。

「安全を前面に出した社員管理」が強化される一方で、4月21日付で『「MY LIFE・OUR LIFE」の訂正』という掲示が貼り出されました。「福社会」で行っていた「社員の成人祝い」や「子女の高校・大学等の入学祝い」「子女の結婚祝い」「社員の銀婚祝い」「父母の喜寿祝い」を廃止したとしています。会社の「人事・賃金」や「福利厚生」制度と違って「福社会」は社員がその主旨に賛同して入会し毎月400円を会費として納入しています。一方的に廃止というのはおかしいのではないのでしょうか。

いずれにしても、そういうところまで削って「リニア建設資金を捻出する」という会社幹部の意識で本当に社員の安全は守れるのでしょうか？！